

平成30年度 事業報告書

平成30年4月 1日から

平成31年3月31日まで

学校法人 常楽寺学園

平成30年度も昨年引き続き園運営を継続することができた。新たに熱心な保護者と元気いっぱいの園児を迎え、おかげさまで幼稚園教諭も充実した教育・保育を実施することができた。今後も一層気持ちを引き締めて業務に当たりたい。

入園児・進級園児共に、情緒面も安定している様子であるが、家庭面で不安定な園児もいることから関係機関と連携しながら寄り添っていききたい。また、支援の必要な園児については、各専門機関と連携し適切な体制がとれるよう整える必要がある。

最近になり、子どもに被害が及ぶ事件や事故が多くなっている。人口動向などの社会的な問題や家庭での問題が社会的な事件になるケースも増えてきていることから、子ども達や保護者を守るための努力をより一層行う必要がある。各施設でも、散歩のコースの安全性や不審者への対策なども定期的に見直し、全職員で再確認を行うなどの努力が必要である。

また、万が一事件や事故が発生した場合への対応策も今後は検討をしておく必要がある。今年度も職員一丸となって、安心安全でより良い環境、保育活動を目指したい。



教員及び職員

志気は高く、職員同士の協力する姿が顕著である。働き方改革法に則り、残業などを減らすために掃除の場所やシフトなどすべての業務を見直すことで、少しずつ改善はしているが今後も努力を継続する必要がある。平成27年度に認定こども園幼稚園型に移行し、5年目となったが課題とされる事務や認定業務等にも理解を深める姿がみられるなど努力する姿が見られた。評価をしたいと思う。

派遣や紹介業者などを利用し確保に努めるが、養成校卒業生の正職員を採用してはいるが、産休や育児休業を取得する職員もいることから、紹介会社などに頼らざるを得ない状況である。豊中市民間保育園連合会が開催する就職フェアへの参加や養成校が主催するフェア、株式会社が主催するフェアにも参加し、各養成校に訪問するなどの求人努力を行う必要がある。



財政面

年々、就労される保護者が多くなるなか、10月1日から施行される幼児教育の無償化により、さらに預かり保育の利用者が増えることが予想される。現に保護者は預かり保育に力を入れている施設を選んで入園をしていることから、対応を検討する必要があるが人材不足のため対応できるかの先行きは不透明である。

産休や育休等の就労環境が改善されるとともに勤務年数が増えており、就業規則や賃金規程を見直したが、処遇改善費等の影響により支出が多くなった。



入園児の状況及び待機児

今年度も3歳児は定員以上の応募者があり安定しているといえる。4歳児は保育所からの転園なども多く、ほぼ定員に達している。

充実の1年と言って過言ではない年を送ることができた。努力した幼稚園教諭や職員、ご協力頂いた保護者の方々、近隣の皆様にも感謝したい。

I 法人本部

1. 所在地

大阪府豊中市服部寿町2丁目9番12号

2. 法人事業の経営理念

学校法人 常楽寺学園は、学校教育法及び教育基本法、幼稚園教育要領、に基づき、教育及び保育を提供するために穂積幼稚園を設置運営する。

本学園は、保護者の多様な意向を尊重して総合的に提供されるよう相違工夫することにより、次代を担う子どもが、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援、助長するため、曹洞禅の精神に基づき、子どもの教育と養育を行う。

3. 経営方針

(1) 経営基盤の強化

社会福祉事業や公益的な事業への自主的な取組について、責任を持って実施できる管理経営体制を構築する。

(2) 事業経営の透明性の確保

法人内で実施されているサービス内容や経営内容などの情報についての透明性の確保に努める。

4. 実施事業

(1) この法人はその目的を達成するため、次に掲げる学校を設置する。

- ・ 認定こども園 穂積幼稚園（定員 95 名）

所在地 大阪府豊中市服部寿町2丁目9番12号

5. 理事会の開催

(1) 第1回 評議会・理事会（5月）

- ① 前年度事業報告及び決算報告の審議、その他

(2) 第2回 評議会・理事会（12月）

- ① 補正予算審議、その他

(3) 第3回 評議会・理事会（3月）

- ① 次年度事業計画及び当初予算の審議、その他

(4) 臨時 評議会・理事会（随時）

- ① 審議の必要に応じ随時開催

6. 構成

(1) 理事 6名（理事長含む）

(2) 監事 2名

(3) 評議員13名（理事含む）

7. 中・長期計画

(1) 地域の子育て支援ニーズに対応した事業実施

- ① 新規地域子育て支援事業の実施

(2) 適正な経営及び財務と透明性の確保

- (3) 保育の質の向上と透明性の確保
 - ① 学校関係者評価・自主評価の実施
- (4) 組織の活性化
 - ①職務や個々に応じた研修計画の策定

Ⅱ 認定こども園 穂積幼稚園

1. 保育目標

生活・あそび・行事を通して

意欲や興味を育てる

豊かな創造性・感性を育てる

良心を大切に守り、育む

よく考える力・学びへの意欲を育てる

2. 保育理念

子どもの そのままの姿を受けとめよう

いきいきと取り組んでいる姿や 熱中した状態を大切にしよう

たくさん抱きしめよう

たくさんの失敗ができる場所にしよう

「ほんものがもつ力」を大切にしよう

みんなで 子どもの成長や発達を喜び合い 協力し合いながら成長しよう

3. 平成30年度の重点項目

- (1) 新たに施行された法律や条令 幼稚園教育要領の理解
- (2) 働き方改革法への対応
- (3) 食育活動の充実を図る
- (4) 保健計画の充実を図る

4. 特別保育事業

- (1) 預かり保育事業
- (2) 病児保育事業

5. 地域交流事業

- (1) 世代間交流事業
 - ① 地域の高齢者や小学生との交流（年1回）
- (2) 地域子育て支援事業（自主事業）
 - ① 貸し出し絵本（月1回）
 - ② 臨床心理士による育児相談（月1回）
 - ③ 幼稚園教諭による育児・教育相談（随時）
- (3) ボランティア、就業体験受け入れ事業
 - ① 保育士養成機関実習生受け入れ

② 中学生職場体験受け入れ

6. 職員構成

職種 正規職員 非常勤職員 嘱託職員

園長 1名

教頭 1名

幼稚園教諭 13名

事務員 2名

看護師 1名

学校医(内科) 1名

学校医(歯科) 1名

学校医(眼科) 1名

絵画講師 1名

運動講師 1名

英語講師 1名

7. クラス編成 (平成30年3月31日現在)

クラス名 年齢 児童数 保育教諭数 備考

つくし 3歳児 25名 2名

どんぐり 4歳児 16名 1名

まつぼっくり 4歳児 16名 1名

いちょう 5歳児 16名 1名

もみじ 5歳児 17名 1名

計 89名

8. 健康管理

(1) 内科検診

年2回

(2) 歯科検診

年1回

(3) 身体測定

毎月

9. 衛生管理

(1) 感染症対応マニュアルに基づいた対応とマニュアルの見直しを定期的に行う。

10. 安全管理

(1) 不審者・防犯指導

年1回

(2) 交通安全指導

年1回

(3) 避難訓練

非常災害対策訓練年間計画表に沿って実施（年12回）

1 1. 食に対する取組

- (1) アレルギー対応の実施
- (2) 年間食育計画に基づいた取組の実施
- (4) 給食衛生管理マニュアルに基づいた対応

1 2. 苦情処理

- (1) 苦情への適切な対応により、利用者の満足感を高めると共に、利用者が適切に利用する事が出来るように支援する事と、苦情を密室化せず社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で解決を進めることにより、円滑・円満な解決の促進や当園の信頼と適正性を図る為に苦情解決規程を設けて、お知らせ、ポスター、ホームページなどで周知する

15. 情報公開

- (1) ホームページの開設

実施されているサービス内容や経営内容などの情報について、透明性の確保に努める。

16. 行事予定

- 4月 入園式
- 5月 子どもの日の集い・歯科検診・一日参観
- 6月 田植え・内科検診・流しそうめん・個人懇談・尿検査・プール開き
- 7月 川あそび・七夕まつり・お泊り保育
- 8月
- 9月 稲刈り・祖父母ふれあいあそび・だんらんまつり・遠足（年中・年少）
- 10月 市民運動会・運動会・いもほり・探検遠足（年長）
- 11月 創造展・個人懇談・たそがれコンサート・一日参観
- 12月 おもちつき・クリスマス会
- 1月 ほんものコンサート・家庭教育講座
- 2月 節分・発表会・一日参観
- 3月 ひな祭り・学校関係者評価委員会・卒園式
- 毎月（絵画教室・英語教室・発育測定・お誕生日会）

17. 研修計画

幼稚園教諭等には、自分自身の資質の向上を意識し、業務に必要な基本知識や技能を高め、専門性を高める意識を持ち、研修で学んだことを日々の保育活動に生かしていく必要がある。幼稚園教諭等に求められる人間性と専門性について、俯瞰的に計画する。又、キャリアアップ研修にも参加する。

18. 職員会議

- (1) 定例会議（毎月）

19. 福利厚生

- (1) 職員健康診断（年 1 回）
- (2) 細菌検査（毎月）
- (3) 学校退職金財団